

くすりと健康のはなし

薬包紙

第62回

一般社団法人岐阜県薬剤師会
理事 佐藤 ゆかり



インターネットって本当に便利ですよ。処方箋調剤時にお渡しする情報文書にも、必ず「詳しく知りたい方は『独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）のHPで調べて下さい。」と書かれています。薬に関する全ての情報をインターネットで誰でも得ることが出来ます。

ところで皆さんはインターネットをどんな時に使用しますか？話題のお店や、気になるニュースなど、面白そうなコトを知りたい時。家族や友人との会話がはずみますね。しかしまったく逆の関心事、人には聞けない、重大なコトをこっそり知りたい時にも使用されます。痛を告知された人の9割がインターネットから情報を仕入れるそうです。

病気や薬について知識が得られる、同じ病気の人と交流できるというメリットがあります。芸能人の癌闘病ブログに勇気づけられた方も多いでしょう。一方で、情報が多すぎるというデメリットがあります。調べれば調べるほど情報が出てきます。「まとめサイト」に書かれている情報が根拠のないも

薬とインターネット

のだった、という報道もありました。

頭が混乱した時は、我々薬剤師に相談してみして下さい。癌の外来化学療法が普及し、自宅で高度な治療を続ける方が増えてきました。

県内各地で、病院の薬剤師と町の薬剤師が一緒に勉強会を開き、お互いの知識を共有し、連携を深めています。必要時には病院と連絡を取り合って、患者様が安心して治療を続けられるよう、お手伝いをさせていただきます。

痛だけでなく、介護や育児、禁煙の相談なども、是非お声かけ下さい。介護分野との連携も進んでいます。育児経験のある者や禁煙のスペシャリストもいます。

薬剤師はいつも忙しそう、と気おくれしてしまいますか？そういう方は是非、岐阜県薬剤師会のホームページで「健康介護まちかど相談薬局」を検索してみてください。喜んで相談に応じてくれる薬局がたくさん載っていますよ。